



課題が生まれた背景

平成 9年4月 従来型特養
定員70名 (うちショートステイ20名)

平成27年4月 ユニット型特養 **増設**
定員60名 (うちショートステイ10名)

↓

- ・一日に働く職員が増えた 33人 → **55人**
- ・新入職員が増えた 平成27年新卒採用者 **17人**
- ・延床面積が増えた 3,968㎡ → **6,755㎡**

課題が生まれた背景

【フロアマップ】

1階 2階 3階

・延床面積が増えた
3,968㎡
→ **6,755㎡**

具体的に上がった課題

- ・ **情報共有**
伝言では確実性がなく、連絡ノートでは時間差が生じてしまう
- ・ **職員のフォロー**
自分から積極的に質問できない職員もいる。また近くに職員がいない場面が増えた
- ・ **職員教育**
職員数の増加に伴い、職員教育をする人・時間共に今まで以上に必要になった

課題の分析と対応策

インカム

それまで情報伝達にはPHSを使用 (36台)

↓

情報伝達にインカムを使用 (**51台**)
介護、看護、相談、栄養、事務員、運転手

※PHSは主にナースコール対応用として (18台) 残す

インカムとは・・・?

インカムとは、業務中にハンズフリーで複数の所有者が同時に一斉通信が行える通信手段。放送局や劇場、イベント会場などで多く用いられています。

導入した成果と評価

①即時性の高い通信と情報の共有化

瞬時に必要な人と通信することができるため、職員を探し回る手間や時間を省くことができました。

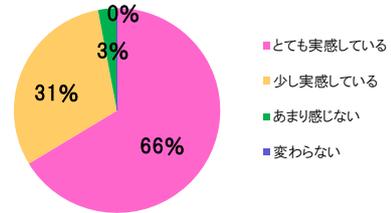
また、正確な情報を全員が一度で共有できるようになりました。



導入した成果と評価

①即時性の高い通信と情報の共有化

Q. PHSからインカムに変わり、業務の効率化が図れていると実感していますか？



導入した成果と評価

②瞬時に意思の疎通&一人じゃない安心感

高麗は三階建ての建物が2つ渡り廊下でつながっており、この建物内に10ユニットあります。同じ建物の中でも様々な職員が働いています。

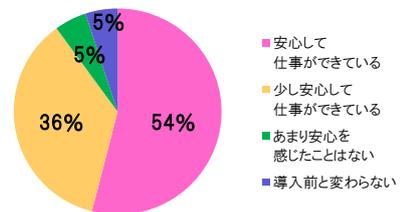
そのため、誰がどこでどんな作業をしているかは把握しにくい現状があります。

ともすると「一人で仕事をしている」という不安を抱えてしまいがちですが、声を掛ければ誰かが応え、助けてくれるという安心感が生まれました。

導入した成果と評価

②瞬時に意思の疎通&一人じゃない安心感

Q. インカム導入後、PHSと比べ心境に変化はありましたか？



導入した成果と評価

③価値観を共有したチームアプローチ

目の前のお客様を一人で支えているのではなく多職種…状況によっては他部署で連携し、みんなで支えるという意識がより深まりました。



導入した成果と評価

③価値観を共有したチームアプローチ

《こんな事例がありました》

【A様、自由にエレベーターに乗る】

車いすを自操することができるA様。人と話す事が好きですが同じ階に話のできる方が少なく、コミュニケーションにおいて充実感はあまりありませんでした。

エレベーターの使い方は理解されているものの、職員が帯同しなければ他の階に行くことができません…。

導入した成果と評価

③価値観を共有したチームアプローチ

《こんな事例がありました》

【A様、自由にエレベーターに乗る】

そこで、各階インカムで連絡を取り合い、A様の居場所を把握することとしました。「特定の誰か」で見守るのではなく、「施設職員全員」でA様を見守るという取り組みです。

現在、A様は自由に各フロアーを行き来し、毎夜1階事務所の宿直者との会話を楽しみにしています。

導入した成果と評価

③価値観を共有したチームアプローチ

《こんな事例がありました》

【A様、自由にエレベーターに乗る】

連絡をやりとりする中で、その都度即席のチームができ、施設職員全員が価値観を共有する機会となりました。



導入した成果と評価

④インカムによる人材育成効果

職員にとって、インカムで他の職員の会話を聞くことは、自分にはない着眼点や観察力の気づきをえられる貴重な機会となりました。

これがフィードバック効果となり、職員の成長を促す**人材育成効果**が生まれました。



スーパービジョンに近い効果が！

導入した成果と評価

④インカムによる人材育成効果

《こんな事例がありました》

【B職員は**気づき**を得られた！】

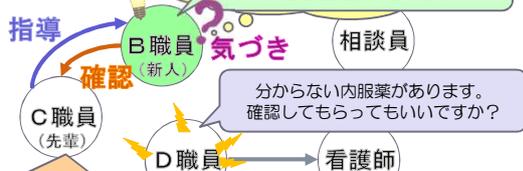


導入した成果と評価

④インカムによる人材育成効果

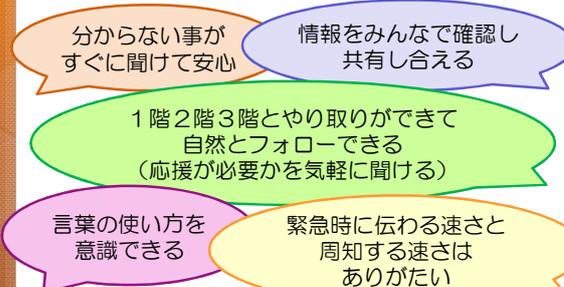
《こんな事例がありました》

【B職員は**気づき**を得られた！】
今の場合も、「まず調べてみる」ということで良いですか？



インカムを導入して

導入後の職員の声



今後の課題

- ・簡潔で分かりやすい伝え方
回線がひとつのため、いかに
 - ・短く
 - ・分かりやすく相手に伝えられるか…。



高麓のミッション

“最期まで自分らしく生きる”を増やす

全ての人が最期の瞬間まで「自分らしく生きる」そんな社会の実現のため、価値ある介護サービスを創造していくこと。そして高麓に関わる全ての人の幸せに貢献していくこと。



ご清聴
ありがとうございました。